北海道美唄尚栄高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業技術検定等の資格取得学習を通して、食と農に関わる知識・理解を深めると共に進路実現を目指す。	農業技術検定は、計画的に学習に取り組み、意識高揚を図ることが出来た。食と農に関わる知識・理解を深めることについては、地域の農業経営者や関係機関との協力により、適宜実施できた。	校外への実習活動等は、天候の関係上、日程を調整する事がやや難しかったが、学習機会を増やしていくようにしたい。	3
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 環境問題の学習に取り組み、食と農、環境のつながりを理解させる学習に取り組む。	科目「農業と環境」や「食品製造」の授業において、食料生産や、SDGSの考え方を積極的に取入れた授業を展開した。	環境問題や食糧生産に係る学習機会を積極的に取入れるため、外部の講師などの専門家に講演などを依頼することを検討する。	3
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域の農産物を、積極的に地産地消する取組を通して、食の大切さを伝える学習を行う。	地域の農産物である米粉や大豆を使用した食品の商品開発に取り組み、地産地消に貢献することができた。	関係機関や地元小学校等と連携した活動を行う。	3
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域の連携学習に積極的に参加し、地	小中学校等と連携し、体験入学等の学校開放時に、農業学習について理解が深められるよう取り組むことができた。	関係機関や地元小学校等と連携した活動を行う。	3
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 食品廃棄物や食品ロスに関心をもち、	科目「農業と環境」や「食品製造」の授業において、未利用資源や、SDGSの考え方を積極的に取入れた授業を展開した。	環境問題や未利用資源に係る学習機会を積極的に取入れるため、外部講師などの専門家に講演などを依頼することを検討する。	3
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域資源である農産物を、商品ブラン	美唄市と連携し、食品の商品開発に取り組むことができた。	食品開発が、商品ブランド化になるよう継続する。	3
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを活用し、食品製造・販売等の知識	タブレットなどを積極的に活用し、情報を活用する事ができた。	食品製造や販売実習等で、積極的にICTが活用できるように工夫する。	3
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地震や火災等の災害に対して、防災意	防災意識を高めるため、防災訓練に積極的に取り組み、実習などで火を取り扱う場合は火災に対して十分に注意するなど意識の高揚につなげることができた。	地震や火災に対して、意識を高めるよう啓発する。	3